

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施状況及び効果検証報告

IV 新たな時代への変化に対応した環境整備～デジタル環境の構築～

単位：円

担当課	事業名	事業目的	事業実績と成果	総事業費	
					交付金充当額
教育（GIGAスクール構想の推進）					
教育総務課	GIGAスクール構想をはじめとした令和の日本型教育の実証事業	新型コロナウイルス感染症による臨時休校・不登校対応等も含め、GIGAスクール構想を始めとした令和の日本型教育のモデルの実証事業を実施する。	モデル校にて、AI型学習ドリルシステムや、オンラインツール「oVice」を導入した。これにより、臨時休校時にも学びの保障を担保できたほか、コロナ禍により増加傾向にある不登校の子どもが、オンライン上で自分らしく過ごせる居場所を提供する環境を整備できた。	835,765	835,000
行政サービスのデジタル化					
総務課	電子決裁システムの導入	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための「新しい生活様式」を実践するため、テレワーク等の多様な働き方や電子申請の拡充を可能とする電子決裁システムを導入する。	電子決裁システムの導入を行った。これにより、テレワーク時にも決裁可能な環境が構築できた。また、電子申請やメールによる文書を紙に印刷して決裁を行い、電子データを返信することなく、ペーパーレスでの事務が可能となった。	40,590,000	40,590,000
健康課	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫状態の中でも、医療機関や保健所が本人から正確な情報を収集し、健康状態のフォローアップが出来るよう、定期接種化されたワクチン接種に係る予防接種情報のマイナンバー情報連携に必要なシステムを改修する。	健康からシステムの改修を実施した。これにより、新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫状況下においても、情報収集等が可能な環境を整備することができた。	1,144,000	64,000
健康課	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫状態の中でも、医療機関や保健所が本人から正確な情報を収集し、健康状態のフォローアップが出来るよう、健（検）診結果等の電子化した情報について、転居時に市町村間で引き継がれる仕組みや、個人が一元的に確認できる仕組みを構築するため、システムを改修する。	健康からシステムの改修を実施した。これにより、新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫状況下においても、情報収集等が可能な環境を整備することができた。	1,669,800	824,000
健康課	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫状態の中でも、個人がマイナポータルを用いて健（検）診情報を閲覧することや、市町村間で健（検）診情報の連携を行うために必要なシステム改修を実施する。	健康からシステムの改修を実施した。これにより、新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫状況下においても、情報収集等が可能な環境を整備することができた。	3,823,600	990,000
幼保こども園課	保育対策総合支援事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、保育の周辺業務や補助業務に係るICT等を活用した業務システムの導入の支援を行う。	私立保育園、事業所内保育所において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、保育の周辺業務に係る業務システムの導入をおこなった。コロナ禍で消毒などの業務が増えたが、ICTを導入することにより効率的に業務をおこなう事が出来た。	1,500,000	500,000
働き方改革（テレワーク環境の整備）					
デジタル推進課	包括的無線通信環境の構築	本庁舎と出先機関ではネットワーク環境が異なっており、コロナウイルス感染症発生時には、庁内と出先機関、出先機関同士において自身の端末を使用できず、分散して業務ができない。そのため、緊急時にも安定した行政運営を行えるよう、包括的無線通信環境を整備する。	包括的無線通信環境の整備を進めた。これにより、庁内会議室と出先機関を問わず自身の端末を使用できるネットワーク環境となった。そのため、緊急時にも安定的な行政運営ができる環境を整えることができた。	31,534,800	31,534,000

※担当課は令和5年3月1日時点で表示しています。